

# 透磁率計 (μメータ)

## フェロプロ FP-5

1 ~ 5 の比透磁率  $\mu_r$  が測定できるラボ用測定器

透磁率や導磁率は、その物質がどれだけ強く磁化できるかを示すものです



FP-5を使用することにより材料や構造部品の比透磁率( $\mu_r$ )を1.000から5.000の広範囲で測定できます。

FP-5は測定値を統計的に評価することができ、USB経由でWindows PCに接続することができます。

ステンレス鋼の品質管理、構造部品の非破壊材料試験、電子・イオン物理学分野の装置や核磁気共鳴装置の材料選定、高応力部品の材料変化の検出などに应用されています。

FP-5はASTM A342 Test Method 4、EN60404-15 Procedure 6及びVG95578に準拠した測定ができます。

プローブには永久磁石が内蔵されており、プローブ先端付近の試料を磁化し、差動回路で構成された2つの高感度磁気センサーが、試料の磁化によって生じる地場の歪を測定しています。

この装置は Physikalisch-Technische Bundesanstalt PTB(ドイツ国立理工学研究所)の精密に校正されたりファレンス標準に基づき校正されています。

校正は簡単に行え、校正用サンプルディスクが同梱されています。

一般に材料の透磁率は、磁場の強度と周波数に大きく依存します。フェロプロ FP-5 のプローブヘッドに永久磁石が内蔵されており、プローブ先端は 35kA/m の一定の磁場が発生しています。

プローブ内の励磁強度に対して異なる補正係数を選択することで、ATMA342 Method 1 による測定も表現することができます。

透磁率の測定値は、小さなサンプルの寸法に依存します。また、装置の感度は試料の厚みによって上昇します。厚さ約 5mm、横方向寸法が約 2cm のサンプルからサイズに関係なく測定できます。

規格	ASTM A342、EN 60404-15、VG95578に準拠した測定
測定単位	比透磁率 $\mu_r$
測定レンジ	$\mu_r = 1.000 \sim 5.000$
分解能	0.001
20°Cでの精度	$(\mu_r - 1) \times 5\%$ , PTB及びNPL標準に基づき再調整可能
プローブ先端の磁界強度	~35kA/m
動作温度	0 ~ 50°C
プローブケーブル長	約 1.5 m
ディスプレイ	グラフィックPLC制御ターミナル (メニューナビゲーション及び測定値表示)
言語	ドイツ語/英語
データロガー	200回測定
統計	回数/最大値/最小値/平均値/標準偏差
インターフェース	USB2.0
保護クラス	IP20
電源	110 - 230V, 50/60Hz、(外部パワーパック使用時)
本体寸法	約 160 mm × 135 mm × 210 mm
重量	約 1600 g(プローブ込み)

付属品 : 測定プローブ、電源ユニット、USB ケーブル、校正用サンプルディスク、校正証明書

■仕様は予告なく変更されることがあります。

代理店

**ARF ジャパン株式会社**

〒192-0351 東京都八王子市東中野 2001-16-103

TEL: 042-689-4048 FAX: 042-689-4049

e-mail : sales@arf-japan.com

<https://www.arf-japan.com>